

みんなで守るまちづくり

放火されない
放火させない



平成21年中、市内で放火および放火の疑いによる火災が43件発生しており、24年間火災原因の1位を占めています＝下囲み記事参照。

放火を減らすためには、住民自らが自衛意識を持って、「放火されない・放火させない・放火されても被害を大きくさせない」まちづくりに取り組むことが大切です。

- 次のような場所は放火される危険性があります。
- ① 死角になりやすいマンションや団地などの駐車・駐輪場
 - ② 人目・人通りの少ない場所
 - ③ 街灯などの明かりが少ない場所
 - ④ ごみが集積されたままの公園などのごみ箱
 - ⑤ 通りに面して可燃物が放置されている場所
- 自分たちの住むまちの環境を、今一度確認して放火からまちを守りましょう。

気づいて防ごう！

あなたの家は大丈夫？

- 家の周りや外階段の下などに、紙類などの可燃物を放置していませんか
- ごみ収集日の前夜に、ごみが出されていませんか
- 共同住宅などの共用部分を物置代わりにしていませんか
- 自転車やオートバイのかごに物を置いたままにしていませんか
- 自転車やオートバイのボディカバーに、防災品を使用していますか
- 玄関、物置、車庫は施錠されていますか
- 郵便受けに新聞やチラシなどをたまったままにしていませんか
- 消火器などは使いやすい状態ですか
- 門灯、玄関灯の照明状況は良好ですか

《住宅用火災警報器》



※天井または壁に取り付けます

住宅火災による全国の死者数が、平成15年から6年連続して1000人を超えています。住宅火災は夜間に発生するものが多く、就寝中のため火災に気づかず、逃げ遅れてしまうことが、死者発生の要因の1つに挙げられました。

《住宅用火災警報器設置例》



大切な命を守るため、1日も早く住宅用火災警報器を設置してください。

逃げ遅れないために
命を守る火災警報器

なっています。住宅火災から命を守るためには、火災をいかに早期に見つけることが重要で、できるかが重要です。

設置が義務付けられたことに便乗し、高額な住宅用火災警報器を売りつける訪問販売の被害が発生しています。

悪質な訪問販売に
注意してください

住宅用火災警報器は家電量販店、ホームセンター、消防設備取扱店などで購入できます（消防署では販売していません。また消防署から販売に伺うこともありません）。悪質な訪問販売に遭わないために、ご自分で購入し、設置することをお勧めします。

住宅用火災警報器を購入する際は、品質を保証した日本消防検定協会認定の「NSマーク」が付いているものを選びましょう。



消えるまで
ゆっくりに火の元
にらめっ子

3月1日～7日
春の火災予防運動はじまる

火災が発生しやすい季節を迎え、3月1日から7日までの期間、全国一斉に「春の火災予防運動」が展開されます。消防局では、市民の皆さんに防火意識を一層高めてもらい、火災の発生を防止するため、期間中、カラオケボックス、物品販売店舗、高齢者が入居する福祉施設などの立入検査や消防訓練を行います。問合せは消防局予防課（0798・322・7313）かお近くの消防署へ。

寝室・階段・台所に正しく設置しましょう
住宅用火災警報器の取り付け場所は、寝室・階段・台所です（左図参照）。
設置場所など分からない点については、消防局予防課かお近くの消防署にお問い合わせください。

◇住宅防火◇
命を守る7つのポイント

- 《3つの習慣》
- ・寝たばこは絶対しない
 - ・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
 - ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 《4つの対策》
- ・逃げ遅れを防ぐため住宅用火災警報器を早期に設置する
 - ・寝具や衣類からの火災を防ぐため防災品を使用する
 - ・火災を小さいうちに消すために住宅用火災警報器を設置する
 - ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

3月1日から5月31日までの期間、「山火事予防運動」を実施します。
この季節、野山へ行楽やハイキングに出かける機会が多くなります。貴重な自然・緑を守るため、次のことに注意してください。
問合せは消防局予防課（0798・322・7331）へ。
① 枯れ草などのある火災が起りやすい場所で、たき火をしない
② たき火の場所を離れるとき

消さないで 小さな命の 帰る場所

山火事予防運動

気をつけたい6つのこと

- ③ 風の強いときや乾燥しているときは、たき火をしない
 - ④ たばこの吸い殻は必ず火を消すとともに、投げ捨てない
 - ⑤ 火遊びしない
 - ⑥ 火災とまぎらわしい煙が出るときは、事前に消防署に届け出る
- 過去5年間の林野火災状況
- | 年別 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 3 | 4 | 0 | 0 | 2 |
| 焼損面積(アール) | 2 | 8 | 0 | 0 | 17 |

安全な住まいで
安心の生活



住宅防災診断
診断を実施しています。
この診断は、わが家・わが身を守るための目安となる診断を行い、住宅内外での危険性を知らせてもらい、どのように対処したらいいかを問いかけるものです。
「火災編」、「地震編」、「日常生活編」の3編からなります。
消防職員が家庭を訪問し、玄関先での問診により災害の対応状況などをお聞きして、住まいに適切な対策を説明します。ご協力をお願いします。

消防テレホンサービス
0798-22-9999

3月6日まで…春の火災予防運動、3月8日～31日…山火事の防止。
平日の午前8時～午後5時（土曜は午前11時）▷病院情報…平日の午後5時（土曜は午前11時）～翌朝8時と日曜・祝日の24時間

放火による火災が増加

平成21年消防概況まとめ
消防局は平成21年中の消防概況をまとめました。その概要をお知らせします。
問合せは消防局（0798・26・0119）：火災・救助については消防課、救急については救急課へ。

◆消防隊の出動件数
消防隊の出動件数は897件（前年比1件減）でした。火災以外の出動が85%を占め、その

◆火災く前年より19件増
出火件数は135件（前年比19件増）でした。
放火による火災が増えたことなどが、その主な要因です。火災による死者は2人、負傷者は14人です。